

ソフテックは、外傷直後、術後、靭帯損傷の保存を含む、多くの膝疾患の管理に用いることができる。

ソフテックは同様に、他のコンディションからなる膝の不安定や変形性膝関節症、リウマチ関節炎にも効果的である。

外傷から間もない場合は、術前、術後の管理が重要である。ソフテックにより、医師は、動作を制限せず、必要に応じてROM制限をし、装具による安定化を得ることができる。これは、今日求められるACL再建後の早期機能療法をより安全に可能にする。

満足度と不満足度に関連する、装着者の主観的評価は、装具の受け入れと全体的な療法の結果についての、重要な要素である。

1998年6月～98年12月まで、シュツツガルトスポーツクリニックにおいて、総数100名の被ACL再建術者にソフテック装具が処方された。装具の適合は義肢装具士が行った。

データは、追跡調査期間中のアンケートにより、全ての装着者から入手した。

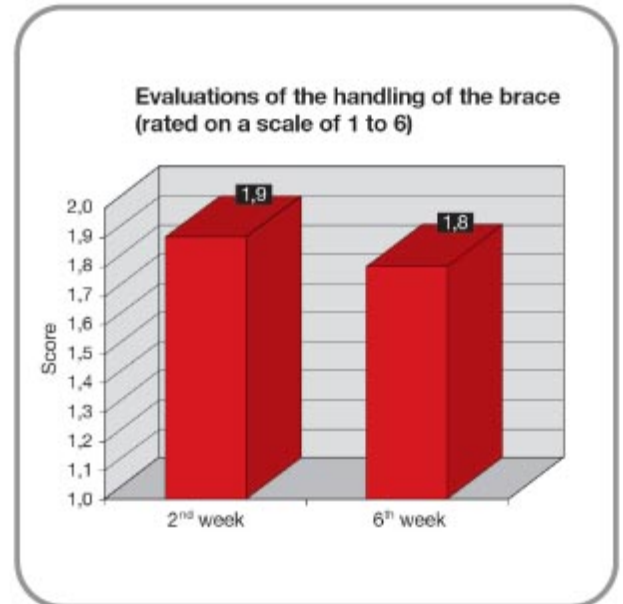
アンケートは、標準的な評価スケール〔1（非常に良い）～6（不適切）〕を用い、被験者にソフテックの評価を尋ねる形式とした。

データ収集

データは、術後2週目と6週目の最終日に入手した。多くの装着者にとって、後の期間に比べると早期段階では、装具の着脱はあまり簡単ではない。

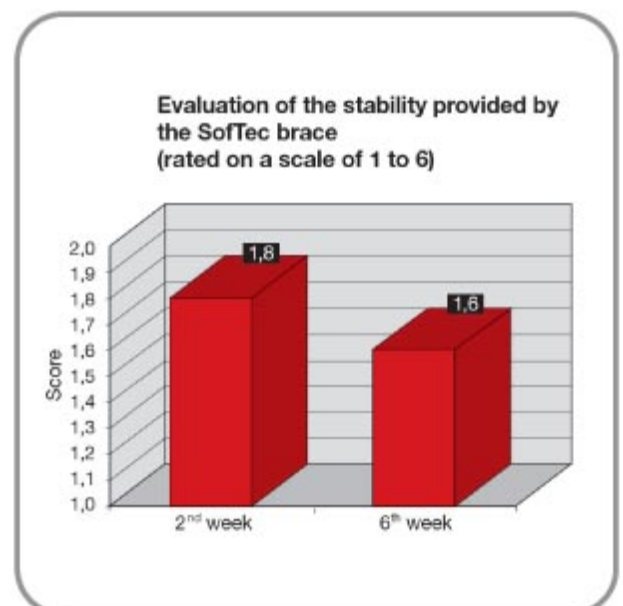
これは術後の初期、膝の屈曲が困難であることによるところが大きい。

製品の取り扱い方法、特に衛生面（製品の手入れ、洗浄など）については、装着者は良好であると評価した。（図②）



図② 装具の取り扱いの評価（評価1～6）

装着者にとって、装具の安定性とROM制限が選択できることは重要である。装具が安定性をもたらすことについては、被験者の主観的評価から疑いの余地が無い。2週間後の平均的スコアは1.8であり、6週後は1.6である。安定性については、装着者は非常に良いと考えている。（図③）



図③ ソフテック装具がもたらす安定性の評価（評価1～6）